



# 臨時休業における学習指導に関するガイドライン (愛媛県版)

令和2年4月18日改



臨時休業が長期化する中、家庭学習の重要度が高まっています。そこで、県教育委員会では、文部科学省の通知に基づき、臨時休業中及び学校再開後の学習指導を計画的に推進するためのガイドラインを作成しました。

## ★休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備えるための特例的な措置★

- 学校が課した家庭学習が次の要件を満たしており、児童生徒の学習状況及び成果を確認した結果、**十分な学習内容の定着**が見られ、**再度指導する必要がない**ものと校長が判断したとき、学校の再開後等に**当該内容を再度、学校における対面指導（授業）で取り扱わない**こととすることができる。

### <要件>

- ① 教科等の**指導計画**に照らして適切に位置付くものであること
- ② 教師が当該家庭学習における児童生徒の**学習状況及び成果を適切に把握**すること

- ただし、一部の児童生徒への学習の定着が不十分である場合

・個別に補習を実施する ・追加の家庭学習を適切に課す などの必要な措置を講じる。

## 1 《臨時休業中》の学習指導

### <要件>①について

- ◎ 学校は**指導計画を踏まえて、適切な家庭学習を課す**。

弾力的な教育課程の編成（別添資料①参照）

教科書に沿った学習プリントや教材等の作成・配布

※ただし、指導内容に沿っていれば、必ずしも教科書を使う必要はありません。

### 〔指導計画や家庭学習の具体例について〕

一日の学習のタイムスケジュールや一週間の学習の見通しなども併せて提示

札幌市教育委員会作成の一週間の計画表と学習課題（別添資料②・③参照）



### (例) [高学年用] 一週間の過ごし方を考えよう (4月 日～ 日)

	月	火	水	木	
朝の会	8:30 ～ 8:45	健康チェック（検温） ストレッチ運動	健康チェック（検温） 朝の読書	健康チェック（検温） 朝の読書	健康チェック（検温） なわとび運動
1時間目	【国語】 ・学習課題にチャレンジする。	【理科】 ・学習課題にチャレンジする。	【国語】 ～書写（毛筆）～ ・ひらがなを毛筆で書いてみる。	【社会】 ・学習課題にチャレンジする。	
2時間目	【理科】 ・前の学年の復習をする。	【算数】 ・前の学年の復習をする。		【算数】 ・いろいろな立体の展開を作ってみる。	
中休み					
3時間目	【体育】…毎日3時間目は、体を動かす時間にする。 ・縄跳びにチャレンジ。 ・エアロビクス動画と一緒に体を動かしてみる。 ・3密を避けてジョギングや散歩をする。				
4時間目	【算数】 ・学習課題にチャレンジする。	【国語】 ・好きな本を読む。	【外国語】 ・動画に合わせて英語を声に出してみる。	【家庭】 ・お昼ご飯と一緒に。	
	12:15				

札幌市教育委員会 (小学校 4月13日～17日分)

#### ①学習課題 (小学校1年生)

**【国語】**

<内容>

- ◆「おはなし たのしいな(P10～P11)」に取り組みます。
  - ①自分が選んだ本や、おうちの人が選んだ本の読み聞かせを聞きます。
  - ②読み聞かせを聞いて、お家の人に本のおもしろかったところなど感想を伝えます。
- ◆「えんぴつ となかよし(P14～P12)」に取り組みます。
  - ①P14やP12の写真を見て、鉛筆の持ち方や正しい姿勢について知る。
  - ②正しい姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、P14～P15の線をなぞる。

<保護者による関わり方のポイント>

- ・「おはなし たのしいな」では、感想が一言で終わらないように、「おもしろかったところはどこかな。」「好きなページはどこかな。」など、お子さんに質問しながら、やりとりをするように関わります。
- ・文部科学省「子供の学び応援サイト」では、NIK for school が紹介されています。NIK for school「おはなしのくに」では、動画による読み聞かせを視聴することができます。ホームページからお子さんに視聴したい本を選んでもらい、一緒に視聴後、感想を聞く学習方法も考えられます。
- ・「えんぴつとなかよし」では、正しい鉛筆の持ち方と姿勢について学びます。P14を

1週間分の課題をまとめて配布し、自分で考えて時間割を作成させるのも効果的です。  
札幌市教育委員会作成の資料をワード形式で添付しています。(学校で自由に作り替えて使用できます。)

## <ぜひ使ってみましょう！>

学年によっては、保護者の協力を得ることも効果的です。

- ・ 県教委等の作成プリント（参考：「愛媛学びの森」学習支援サイト、えひめ教職員「ふれあい広場」）
- ・ NHK Eテレ等のテレビ放送
- ・ 文科省ホームページ「子供の学び応援サイト」に掲載されている教材や動画等

↓リンクが貼られている

- ・ 教科書発行者などの民間事業者等が提供するプリントやテスト類

※例えば、次のようなサイトや番組を使うことで、配布用の教材を効率よく作ることができます。  
また、例を参考にして、児童生徒に教材・動画、その使い方を具体的に示すようにしましょう。

### 小学校・理科《効果的なコンテンツ》

#### 【1】「NHK for School」の活用

- ・ 教科書会社別・単元別の動画が多数。  
単元の動画を事前に視聴しておくことで、教科書を使った自学自習に効果的。

#### 【2】「理科ねっとわーく」の活用

- ・ 観察、実験の動画など、数多くのデジタルコンテンツを収録。  
特に、「自習室」では学習内容が教科書の流れに沿って、分かりやすく説明。

#### 【3】教科書会社HPに掲載されている学習教材の活用

- ・ 各教科書会社のHPには、学習教材（動画、プリント、小テスト等）が多数掲載されている。学校で使用している教科書と同じ図表が使われている学習シート等を使うことで、教科書内容の理解が容易となる。

【掲載されている教科書会社】教育出版、啓林館、大日本図書、学校図書（掲載順）

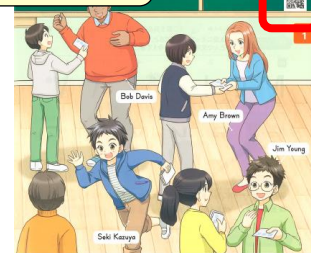


### 小学校・外国語《効果的なコンテンツ》

#### 【1】各教科書のQRコードの活用

- ・ コードを読み取り、教科書の場面に合わせて音声や動画を視聴できる。教科書を見ながら、会話の場面を想像し、簡単な語句や基本的な表現の発音練習が可能。  
教科書によっては、アルファベットの書き順を示すアニメーション動画が掲載されており、それを見ながらアルファベットを書く練習ができる。

各教科書には、このようなQRコードが多数示されています。



#### 【2】小学校外国語教材 Let's Try!や We Can!の音声データの活用

- ・ 文部科学省ホームページに掲載。ワード文書中に掲載されているQRコードを読み取ることで、教材を見ながら音声を聞くことができる。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1387503\\_00001.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503_00001.htm)

#### 【3】「エイゴビート」（3・4年生向け）、「基礎英語0～世界エイゴミッション～」（5・6年生向け）などの番組視聴

- ・ 「子供の学び応援サイト」より、「NHK for School」の各番組の視聴が可能。英語のリズムを耳と体で感じたり、外国の人に質問する様子を見たりすることで、英語に慣れ親しむことができる。

1本10分程度の動画が多数掲載されています。



＜要件＞②について

◎ 学習指導や状況把握と組み合わせる可能な限り学習を支援する。

登校日の設定や家庭訪問の実施、電話での連絡等を通じて学習の進み具合の把握を行う。

〔学習評価の反映について〕

指導計画等を踏まえながら家庭学習を課し、教師がその学習状況や成果を確認すれば、学校における学習評価に反映できる。

＜学習状況及び成果の確認方法の例＞（参考：「愛媛学びの森」学習支援サイト、えひめ教職員「ふれあい広場」）

- ・ワークブック、書き込み式プリント
- ・レポートの作成（教師のフィードバック必要）
- ・ノート（学びの振り返りの記録）
- ・小テスト（登校日に学習状況確認のため実施） など

これらを適切に組み合わせて、家庭学習用の課題を作成しましょう。

＜教師による確認方法の例＞

臨時休校中や学校の再開後もやむを得ず登校できない児童生徒に対して

- ・電子メールやFAX、郵送等を通じた提出
- ・パソコンやタブレット端末等による個別学習が可能なシステムによる学習履歴の確認
- ・テレビ会議システム等を活用したオンラインでの確認

登校日や学校の再開後

- ・対面での学習状況の確認（確認プリントや小テストの実施）
- ・提出物からの見取り（プリント、レポートや振り返りの記録） など



家庭学習の課題の回収と次回の配布が課題

臨時休業前に配布した家庭学習をどのように回収し、どのように次回の配布を行うのか？

＜回収・次回配布の方法例＞

- ・登校日の活用、家庭訪問の実施
- ・公民館、集会所の協力を得て学校用ボックスを設置（棚・箱など）
- ・校門や職員室入口に専用の回収ボックスを設置（保護者等へ協力をお願い）



2 《学校再開後》の学習指導

◎ 学校において、学習の遅れを補うため可能な限りの措置を講じる。

＜措置の例＞

- ・ 補充のための授業
  - ・ 教育課程に位置付けない補習
  - ・ 適切な家庭学習 など
- そのための時間割編成の工夫、学校行事の精選、長期休業期間の短縮、土曜日の授業も検討

◎ 休業中、学校が課した家庭学習を適切に評価する。

※児童生徒が持参したものは、全教職員で協力し、丸を付け朱を入れるなど評価して返しましょう。

### 3 その他の留意事項

#### (1) ICTを活用した家庭学習を課すに当たって

- ① 各家庭における端末の保持や通信環境の状況について十分配慮する。
- ② 各家庭において活用が困難な場合は、プリント等を配布するなどの代替措置を行う。
- ③ ICTを活用させる際には、個人情報や著作権の保護等についての必要な指導を行う。また、保護者にも十分な説明を行い、必要な協力を求める。

#### (2) 学校が課す家庭学習の内容について

- ◎ 学校の実情を踏まえ、一定期間、基礎的・基本的な内容を先行実施することも考えられる。
  - ・ 国語の漢字練習、分からない語句調べ、関連する本を選んでの読書、俳句作り
  - ・ 英語のアルファベットや単語、算数・数学の計算、社会科の用語、地名、人物調べなど
  - ・ 体育（軽い運動、ストレッチ）、図工・美術のスケッチや写生
- ◎ 学校規模によっては、プリント等の印刷に費用がかかり、児童生徒に配布することが困難な場合がある。このような学校では、例えば、児童生徒自身がテーマを選択できる形での自主学習課題一覧を電子媒体や紙媒体で提示し、教科書とノートを使っての学習や、配布済みの副教材や家庭にあるテキストなどを使っての学習を促すことも考えられる。

**県教育委員会でも、えひめ教職員「ふれあい広場」等を通じて、学習資料や指導資料等を、随時、提供します。**

このガイドラインは、令和2年4月10日付け2文科初第87号初等中等教育局長通知「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について」及び参考資料④に基づいて作成しています。

